

男女共同参画行動計画白山21（改定版）の平成24年度事業実施状況について（概要）

基本目標 I 家庭・職場・地域において男女が共に個性と能力を発揮できる社会の実現

家庭における意識の見直しのため、男女共同参画川柳の募集や、男女対象の料理教室、キッズ☆キッチン、ふらっとミニセミナー等を開催し、市民に啓発しました。また子育て支援の充実のため、新たに乳児保育所を開設し、病後児保育、一時保育などニーズにあわせた保育サービスを実施しました。ショートステイについては利用者が延べ98人(H23 84人)でした。

一般事業主行動計画の推進については、101人以上の企業50社、全て策定済みとなりました。

雇用の場においては、家族経営協定を結ぶ農家は4軒(H23 2軒)でした。

安心して暮らせる環境の整備としては、白山市国際交流協会では共生交流部会を設け、外国人への生活支援を行いました。

高齢者・介護を支える環境も医療機関との連携が進み、制度の啓発を、まちかど市民講座等で行いました。

また防災に関する女性リーダーの育成として、自主防災組織リーダー（防災士）養成講座を開催し、7人の女性が受講しました。（総数140名うち女性16人）

基本目標 II 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

意識づくりのため、職員研修、相談員研修、トップセミナーを行い、北辰中学校三年生による討論会の初めての開催や、市内9か所での啓発展を実施しました。

12月には県内で4番目となる男女共同参画都市を宣言しました。1月には、都市宣言記念式典及び講演会を市民約600名の参加をえて開催しました。記念式典を行うに当たり、当日の運営など県男女共同参画推進員と連携し、開催しました。

基本目標 III 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大

市審議会等の女性委員登用率、数値目標40%を目指し、人材発掘のため女性人材リスト登録事業を継続して実施しました。また、市の入札の際、女性技術者の雇用にあたり主観的事項審査基準に基づき加点を実施しました。また各種団体女性連絡協議会開催事業を支援しました。

基本目標 IV 男女の人権の尊重

男女共同参画室へ4月、女性相談員の配置を行いました。DV専用電話「DVホットライン白山」の周知・啓発の強化（274-9530（キュウゴサレたい）、）DV防止啓発カード・シールを市内154施設へ配布、また市内高等学校に啓発パンフレットを配布し、DV防止リーフレットを全戸配布しました。